

2 発掘調査受託事業

民間調査組織を活用し、以下の発掘調査及び整理・報告作業を実施する。

(1) 本発掘調査 19,813 m² **【資料1】**

国交省直轄国道関係 : 6 遺跡

(2) 整理・報告作業 **【資料2】**

整理編集・報告書刊行 : 12遺跡

3 保存処理 **【資料3】**

ア 木器保存処理

大型木製品143点の保存処理と令和4年度に含浸した大型木製品151点の表面処理を行う。

イ 金属器保存処理

鉄製品・銅製品276点の保存処理を行う。

ウ 木器・金属器とも、保存処理による収縮・変形への対処・補正のため、処理前に実測・写真撮影等の記録作業を行う。

4 資料整理・管理

発掘調査による出土品及び記録類を保管するとともに、他機関の報告書や専門図書を考古学・歴史学などの学習・研究資料として、研究者・県民が活用できる場を提供する。

ア 保管

- ・ 出土品・記録資料の保管
- ・ 図書類の保管、奈良文化財研究所が運営する報告書のインターネット公開

イ 記録類の整理

- ・ 写真記録の体系的な整理

ウ 資料の活用・貸出し・閲覧

- ・ 出土品、写真等の貸出し、資料調査対応
- ・ 埋蔵文化財に関する調査・研究を進めるため、情報・資料・図書等の収集を行う。

エ 再整理

復元からの経年により劣化が著しい土器の修復、収納材の点検交換、管理台帳の整備を行う。

5 普及啓発事業

現地説明会、遺跡発掘調査報告会等の開催や、学校等が行う体験学習支援などの普及事業を行うとともに、発掘調査報告書や広報紙等の刊行により、調査結果を県民に還元する。

(1) 普及啓発

ア 埋蔵文化財センター内の展示

常設展示のほか、企画展等を開催する。

イ 埋蔵文化財センター利用者の見学案内

来館者の希望に応じて、埋蔵文化財センターの展示品等の説明案内を行う。

ウ 現地説明会の開催

発掘調査現場において、調査中の遺構・遺物を公開し調査成果を報告する。

エ 事業団主催事業

【企画展】

企画展1 『発掘された名前』

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：令和5年4月21日(金)～12月17日(日)
- ・内 容：古代から中近世までの木簡・墨書土器をはじめとする文字資料の中から、人名・役所名・施設名・地名など多様な「名前」に焦点を当て展示する。

企画展2 『発掘！新潟の遺跡2023』

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：令和6年1月12日(金)～3月20日(水)
- ・内 容：令和4・5年度の発掘調査・整理資料を展示する。

【講演会】

新潟県埋蔵文化財センター講演会

- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・内 容：新潟県内の調査例や出土遺物関連の講演
(令和5年4月から11月の間で全11回実施予定)

発掘こぼれ話

- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・内 容：発掘担当者が自ら発掘した遺跡の様子を分かりやすく解説。
(令和6年1月から2月の間で全2回実施予定)

【第27回 遺跡発掘調査報告会】

- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・日 時：令和6年3月3日(日)
- ・内 容：令和4・5年度発掘調査成果の報告とテーマを絞ったシンポジウム

【キッズ考古学教室】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：7月2日(日)を初回とし、全4回
- ・内 容：土器作り、発掘体験、石器の使用、編み物作り、まとめ発表会

【大人向け体験会】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：第1回 令和5年4月26日(水) 人面墨書土器を作ろう①
第2回 令和5年9月6日(水) 人面墨書土器を作ろう②
第3回 令和5年11月15日(水) 土器の拓本をとろう

【まいぶんまつり】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：6月4日(日) 勾玉作り体験
10月9日(日) 各種体験を予定

【遺跡発掘地での展示会】

- ・場 所：各現場事務所
- ・日 時：発掘調査現地説明会開催日
- ・内 容：発掘現場の現状(成果) 報告に併せて県が周辺で調査した遺跡の写真や遺物を展示する。

【体験学習・出前授業】

学校教育の場として埋蔵文化財センターの施設・設備を提供し、火起こし、勾玉作り、石器使用などの体験、教材貸出し及び展示見学などの校外学習支援や、希望する学校に指導者を派遣し出前授業を行う。

【職場体験・インターンシップ等の受け入れ】

中学生や高校生などに埋蔵文化財に関連する職種や内容を解説、体験してもらい、将来の進学や就業選択の一助となるよう支援する。

オ その他施設等との協力事業

「フラワースタンプラリー」への参加

公益財団法人新潟県都市緑花センターなどが主催する「フラワースタンプラリー」に参加し、来場者には抽選で景品を贈呈する。

- ・期 間：令和5年4月～6月

(2) 広報紙・調査研究誌等の刊行

ア 『埋文にいがた』121～123号

刊 行：年3回（7・11・3月） 2,000部（各号）

配布先：小・中・高校、市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会
他関係機関

イ 『年 報』

刊 行：年1回 30部・電子版をホームページで公開

配布先：発掘調査事業者、財団役員等

ウ 『研究紀要』

刊 行： 300部（令和5年度原稿作成・刊行予定）

配布先：市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会等、他関係機関

エ ホームページ・メールマガジン、ソーシャルメディアによる情報の提供

埋蔵文化財センターの催し物や事業内容、日々変化する発掘現場の様子や、周辺施設等の利用もあわせた埋蔵文化財センターの活用資料等を積極的に情報提供する。

6 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修

日々進展している内外の各種情報を共通認識し情報の共有化を図るとともに、発掘調査業務に対して迅速に対応するため、職員研修への参加及び安全衛生研修等を実施する。

また、要請に応じて市町村発掘調査技術指導等を行う。

(1) 市町村発掘調査技術指導

要請に応じて随時実施する。

(2) 職員研修

ア 全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修

- イ 関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員共同研修
 - ウ (独)奈良文化財研究所主催研修
 - エ 県主催専門職員研修
 - オ 文化庁埋文担当職員等講習会
- (3) 安全衛生研修等**
- ア 安全衛生講習 (6月)
 - イ 火災訓練 (9月)

7 埋蔵文化財センターの管理運営

指定管理者として、埋蔵文化財センターが快適な環境のもとでの利用が行われるよう、センターの運営及び施設・設備機器の保守管理を行う。

なお、新潟県との埋蔵文化財センターの管理運営に関する協定期間は、令和5年度までの5年間。

8 全国埋蔵文化財法人連絡協議会

- (1) 総会：和歌山県 (6月15日・16日)
- (2) 役員会：北海道 (5月12日)、会場未定 (12月予定)
- (3) 研修：茨城県 (11月1日・2日)
- (4) 中部・北陸ブロック連絡会議：石川県 (時期未定)